



# 本州以南におけるオオジシギの繁殖状況

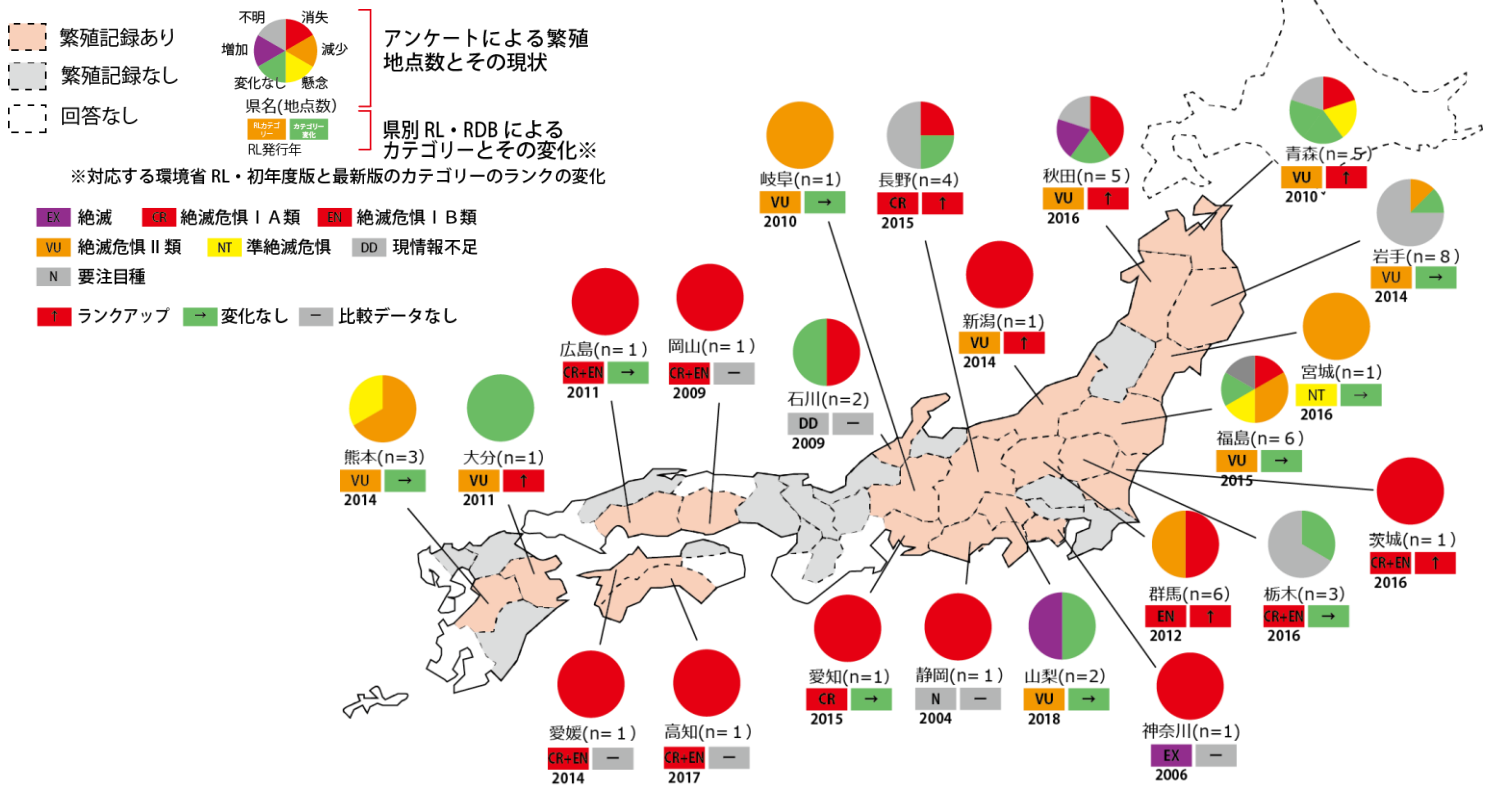
## 目的

オオジシギは、環境省によるレッドリストで本州中部の高原で個体数が減少しているという理由から準絶滅危惧種（NT）に選定されているが、全国の繁殖状況をまとめた報告は今までにない。本種の保全を考える上で、特に減少傾向にあるとされる本州以南における繁殖期のオオジシギの生息状況の現状を把握するためにアンケートと文献による調査を行なった。

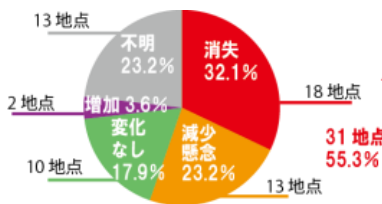
## 方法

- 1) 本州以南を活動拠点とする日本野鳥の会の75支部に、2017年までの過去20年間でオオジシギのディスプレイフライトが観察された地点、その最大観察羽数、現在までの個体数の変化とその理由をアンケート形式で聞き取った。
- 2) 2018年までに発行された北海道を除く46都府県のレッドデータリスト（RL）およびレッドデータブック（RDB）のオオジシギの категорияと選定理由、過去の繁殖記録の有無と現在の状況をまとめた。

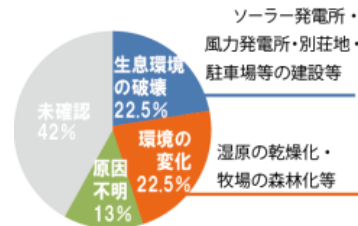
## 結果



過去20年間にディスプレイフライトが確認された地点 (n=56) の現在の状況



状況が悪化した地点 (n=31) の原因



22県で過去20年間に繁殖の記録があり、56か所の繁殖地の半数以上が消失か個体数の減少傾向にあった。繁殖記録のあるすべての県でRL・RDBの掲載種となっており、本州での状況は危機的である。特に本州中部以西で繁殖地の消失が激しい。生息地の破壊と、環境の変化によるものが45%で、いずれも草地の減少が大きな要因である。今後、開発に対する保全の取組みや草地環境の維持を図る施策が必要である。また、環境は変わらないが減っているという場所も13%あり、全体的な数が減っていたり、分布が変化している可能性もあり今後の変化も注視する必要がある。